

第1回審議会の質疑に対する回答

No.	プロジェクト	対象ページ	審議会委員の意見(委員名)	事務局回答内容
1	誰もがいきいきと活動できる快適なまちづくり	p.5	<p>・プロジェクト指標「冬期間における安心・快適な生活が送れていることに満足している市民の割合」が低下している原因を、「調査年の降雪が多い、あるいは集中的に降雪があった場合には、満足度が低下しやすいものと考えられます」と評価しているが、雪が多い少ないで指標の満足度も下がる上がると安易に評価するのではなく、どの地区で苦情が多い、どの地区で積雪が多いなどを把握しているのか。 (田澤委員)</p>	<p>・プロジェクト指標「冬期間における安心・快適な生活が送れていることに満足している市民の割合」からは、市内の苦情が多い地区や積雪が多い地区を分析することはできておりませんが、以下の様々な手法で除排雪に対する市民ニーズ及び道路状況の分析をタイムリーに進め、除排雪作業に取り組んでいます。</p> <p>①市内を18工区に分け、また、市内各所に積雪センサーを設置し、どの工区で積雪及び苦情・要望が多いか、月ごとに傾向を分析し、重点的に除排雪作業に取り組む工区の選定を行っています。</p> <p>②市民からの苦情・要望を令和3年度は4,430件(令和2年度は2,414件)いただき、必要な箇所についてはその都度現地で聞き取りを行い、改善に繋げています。</p> <p>③令和4年2月に26地区町会連合会を対象に、今冬の除排雪に関するアンケートを実施し、各地区から改善点などについてご意見をいただき、改善に繋げています。</p> <p>④市民団体や民間企業が抱えている除排雪の課題を共有するため「雪対策懇談会」を開催し、課題の把握に努めるとともに対策について現在も検討を行っています(以下、QRコード参照)。</p> <p>除雪業者へのアンケートや聞き取り等も実施しており、今後も様々な手法で市民ニーズを的確に捉え、除排雪作業に反映させることで満足度の向上に向け取り組んでいきます。</p> <p>※参考(令和3年度第3回雪対策懇談会アンケート結果)</p> 
2		p.28	<p>・プロジェクト指標「町会加入率」は、どのように取得しているのか。 (小山(三)委員)</p>	<p>・市で公表しているオープンデータひろさきにおける世帯数(4月1日時点)を分母、毎年全町会に対して調査している町会加入世帯数の総数(4月1日時点)を分子として町会加入率を算出しております。</p>
3	つながる・支える地域コミュニティ	p.28	<p>・プロジェクト指標「町会加入率」について、実績値は横ばいで推移しているが、「なぜ町会に入らないのか」について、エリア、年齢層などの特徴を市では捉えているのか。 (外崎委員)</p>	<p>・町会に入っていない世帯に関する年齢層やエリア等詳細な情報については、市として取得する手段を持ち合わせていませんが、町会長を対象としたアンケート(町会に関するアンケート報告書 令和3年2月)の自由記述欄や聞き取りなどにより、</p> <p>①相馬・岩木地区や各出張所が設置された地区では100%近い加入率である一方、市の中心部の加入率は低い。</p> <p>②アパート入居世帯の加入率は低く、特に学生の多い地区は加入率が低い。</p> <p>といった傾向を捉えています。</p> <p>・市では町会活動の担い手育成や活性化の観点からも、町会の存在や活動への参加を促す機会を増やすため、町会連合会と協働で実施する町会活動のPRキャンペーンや、町会の自主的な取組や町会活動を周知するための取組等を支援する町会活性化支援事業等を継続することで、町会加入率の改善を目指していきます。</p> <p>※参考(町会に関するアンケート報告書 令和3年2月)</p> 

二次評価希望施策調査結果

7月20日までの照会の結果を受けて、得票の多かった以下の2施策を審議会委員希望施策といたします。

- ①「新たな担い手の育成・確保」(3票)
②「耕作放棄地の防止と再生」(3票)

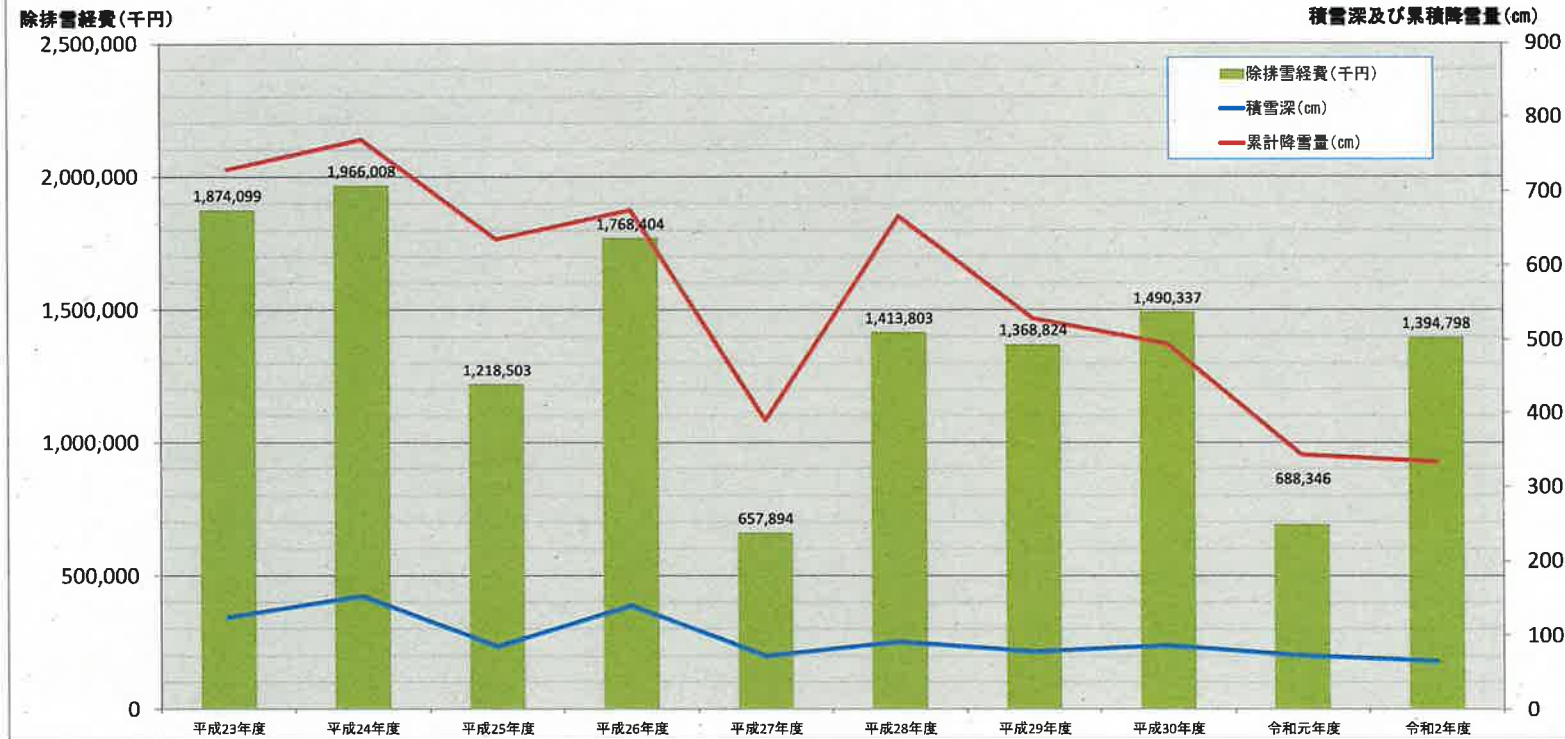
政策	政策の方向性	施策	事務局選定施策	得票数 (希望委員数) ◎に決定
① 学び	1 地域を担う人材の育成	1) 学校・家庭・地域が共に支える環境づくり		1
		2) 子どもの笑顔を広げる市民運動の推進		
		3) 健やかな体を育成する教育活動の充実	○	
		4) 学力の向上と時代に対応する教育の推進		
		5) 生きる力を育む地域活動の支援		1
		6) 感性を高め夢を広げる事業の展開		1
	2 生涯学習体制の推進	1) 生涯学習体制の充実と多様な学習機会の提供		
		2) 学びの地域情報提供と地域コミュニティの活性化		
	3 教育環境の充実	1) 共生社会に向けた教育基盤の確立		
		2) 教育課題の解決を目指す環境の向上		1
		3) 就学等の支援による教育の機会均等		1
		4) 快適で安心して過ごせる教育環境の整備		1
ス② ポ 文 化 活 動	1 文化芸術活動の振興	1) 文化・芸術活動の推進		1
	2 スポーツ活動の振興	1) スポーツ・レクリエーション活動の推進 2) 東京オリンピック・パラリンピックに向けた活動の推進		
③ 子育て	1 弘前っ子の誕生	1) 安心して妊娠・出産・育児できる支援体制の充実		1
		2) 子どもの成長・発達に応じた切れ目のない支援		
		3) 出会いの応援		1
	2 地域全体で取り組む多様な子育て支援	1) 子どもの健やかな成長の応援 2) 多様なニーズに対応した子育て支援の充実		1 1
④ 健康・医療	1 生活習慣病発症及び重症化の予防	1) 生活習慣の見直し支援		
		2) がん対策の強化		1
	2 ところとからだの健康づくり	1) 産学官民連携による健康づくり	○	
⑤ 福祉	1 高齢者福祉の充実	1) 高齢者の社会参加・生きがいづくりの促進		1
		2) 介護予防と自立支援介護の推進		
		3) 介護サービスの適正給付の推進		
		4) 地域ケアの推進		
	2 障がい者福祉の充実	1) 障がい者に寄り添った地域生活支援		2
		2) 障がい者の就労支援		
3 自立・就労支援の充実	1) 生活困窮者及び就労困難者等の自立・就労支援	○		
⑥ 雇用	1 就業・雇用環境の充実	1) 学生・移住者等の地元企業への就職支援		1
		2) 多様な担い手の雇用の促進		1
⑦ 農林業	1 農産物等の生産力・販売力の強化	1) 日本一のりんごの生産力・販売力の強化		
		2) りんご産業イノベーションの推進		
		3) りんご以外の農産物の生産力・販売力の強化		1
	2 担い手と農地の確保に向けた支援	1) 新たな担い手の育成・確保		◎4
		2) 農業経営力の強化		
		3) 農地等の有効活用		
3 農林業基盤の整備・強化	4) 耕作放棄地の防止と再生		◎3	
	1) 農道等の維持・改善と森林の保全・活用			

政策	政策の方向性	施策	事務局選 定施策	希望委員数 (◎に決定)
⑧ 商 工 業	1 商活動の活性化と強化	1) 魅力ある商業地域の形成		
		2) 地元生製品の販売力強化		1
	2 地域を牽引する産業の育成と企業誘致	1) 産業基盤の強化		1
		2) 企業誘致の推進		
	3 経営力の向上	1) 創業・起業への支援	○	
		2) 経営支援・融資制度		1
⑨ 観 光	1 観光地域づくりの推進	1) 観光資源の魅力の強化		1
		2) 観光客受入環境の整備促進		
	2 広域連携による観光の推進	1) 広域圏の観光施策の充実と観光情報発信の強化		1
⑩ エ ネ ル ギ ー ・ 環 境	1 環境保全の推進	1) ごみの減量化・資源化の推進		1
		2) 生活・自然環境の保全		
⑪ 安 全 心 ・ 環 境	2 地球温暖化対策・エネルギー政策の推進	1) 省エネルギーの推進		
		2) エネルギーの自給率向上と効率的利用の推進		
⑫ 安 全 心 ・ 環 境	1 危機対応力と災害対策基盤の強化	1) 地域防災力の強化		2
		2) 災害対策のための基盤の整備		2
	2 安全・安心な生活環境の確保	1) 安全・安心な地域づくりの推進		1
		2) 交通安全対策の推進		
⑬ 雪 対 策	1 冬期間における快適な道路・住環境の形成	1) 冬期道路環境の維持・整備	○	
		2) 地域一体となった新たな除排雪体制の構築		2
⑭ 都 市 基 盤	1 持続可能な都市の形成	1) 地域特性を生かしたコンパクトシティの形成		
		2) 市内の交通ネットワークの形成		
		3) 空き家・空き地対策の推進		
		4) 都市の美化・緑化の推進		
	2 道路網・道路施設の整備と維持管理	1) 道路網の整備		
		2) 道路・橋梁等の補修		
3 安全・安心な上下水道の構築	1) 安全で安定した水道水の供給			
	2) 下水道の整備による快適な生活環境の確保			
⑮ 景 観 ・ 文 化 財	1 郷土弘前を愛し、自然や歴史・文化財に親しむ心の醸成	1) 文化財情報の公開・発信と学習等の充実		1
		2) 地域に根ざした文化遺産の保全と伝承		
	2 景観形成・歴史的風致の維持向上	1) 景観・街並みの保全		
2) 弘前公園の整備				
⑯ 交 流 ・ 移 住	1 移住・交流の推進	3) 文化財の保存・管理と整備の推進	○	
		1) 移住・定住対策の推進		1
⑰ 市 民 協 働	1 協働による地域づくりの推進	2) 多文化共生・国際交流の推進		
		1) 市民と行政の協働による地域づくりの推進		1
		2) 町会を基盤とする地域コミュニティの維持・活性化		2
		3) 企業等とのまちづくりの推進		1
	2 市民対話の促進と情報発信力の強化	4) 学生による地域活動の推進		
		1) 広聴の充実		
2) 広報の充実				
		3) シティプロモーションの推進		1

弘前市の降雪と除排雪経費（相関グラフ）

（平成23年度～令和2年度）

令和3年3月31日現在



項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
積雪深(cm)	124	153	84	140	72	91	78	86	73	66	97
累計降雪量(cm)	730	770	635	675	390	667	528	494	343	334	557
除排雪経費(千円)	1,874,099	1,966,008	1,218,503	1,768,404	657,894	1,413,803	1,368,824	1,490,337	688,346	1,394,798	1,384,102
人口(人)	181,822	180,807	179,187	177,312	175,545	174,190	172,500	170,508	168,739	167,117	174,733
1人当り除排雪経費(円)	10,825	6,747	9,869	3,710	8,054	7,858	8,640	8,741	4,079	8,346	7,887
国からの補助金(千円)	374,246	359,884	45,880	348,030	103,400	157,970	155,457	121,096	104,089	188,780	195,864

苦情・要望件数(件) 3,860 5,165 1,948 3,762 709 2,430 1,190 2,097 675 2,275 2,414

平成23～令和3年度の苦情・要望件数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	過去10年 平均値	令和3年度	備考
一般除雪	1,950	2,650	1,061	1,825	448	1,400	669	1,202	380	1,159	1,274	2,070	
除雪粗末・片寄り	528	685	325	523	196	701	305	583	171	522	454	827	} 1136件 25.82%
雪塊を置いていった	塊 間口	199	200	201	339	60	179	81	134	40	141	199	
					40	10	13	15	35	4	20	110	
路面状態が悪い	534	836	133	315	12	194	35	123	17	122	232	447	
新規要望	20	18	15	5	2	4	5	5	4	10	9	6	
除雪こない	95	208	79	164	39	31	32	41	34	48	77	105	
器物破損	73	104	74	131	50	102	70	130	59	66	86	87	
空き地に雪を押さないで	52	36	33	54	4	19	17	24	7	20	27	29	
その他	290	321	202	254	75	157	109	127	44	210	175	260	
排雪・拡幅要望関係	899	1,270	309	842	51	418	129	361	79	536	489	1,396	
歩道除雪	36	38	22	51	18	27	19	22	14	36	28	50	
小路排雪	418	545	217	527	67	299	153	203	52	191	267	322	
交差点排雪	154	199	39	117	6	66	49	78	17	42	77	93	
消・流雪溝	130	123	96	120	58	50	63	66	42	114	86	112	
その他	273	340	204	280	61	170	108	165	91	197	189	357	
合 計	3,860件	5,165件	1,948件	3,762件	709件	2,430件	1,190件	2,097件	675件	2,275件	2,414件	4,400件	

令和4年3月24日現在